

第6回 東海大学 丹沢湘南観光交流フォーラム



【テーマ】大山道、その魅力の再発見ーまち歩き企画の実践を通して

基調講演には伊勢原市教育委員会の文化財課で長年にわたって文化財の調査を手がけてこられ、大山道案内の実践家としても活躍されている安藤洋一氏をお招きします。我が国の観光旅行の原点とも言える「大山詣」の参詣ルートである大山道の歴史と観光魅力について、大山道案内の実践例も踏まえたお話を伺うこととしました。

パネルディスカッションでは、神奈川県および東海大学湘南キャンパス近隣地域で観光振興を実践されている方々にパネリストとしてご登壇いただき、ご来場の皆様とともに議論を深めます。

開催 2014年1月25日(土) 14時開会

基調講演 安藤洋一氏 (大山道案内の実践家)

演題 『大山道を歩くーその歴史と観光魅力』

【フォーラム】 場所：タウンニュースホール 3階
(小田急東海大学前駅南口を左に出て徒歩1分)

○13:30 受付開始

●14:00 開会挨拶 泉正史 (東海大学観光学部教授 観光学科主任)

●14:05 趣旨説明 司会者=屋代雅充 (東海大学観光学部教授)

●14:10 ~ 15:00 基調講演 安藤洋一
(伊勢原市教育委員会文化財課専門員)

演題『大山道を歩くーその歴史と観光魅力』

○15:00 ~ 15:10 休憩 (10分間)

●15:10 ~ 16:50 パネルディスカッション (会場参加者との質疑応答を含む)

【テーマ】大山道、その魅力の再発見ーまち歩き企画の実践を通して

パネリスト 樋渡三千尋 (神奈川県湘南地域県政総合センター)

船橋陽介 (株式会社セブンカルチャーネットワーク)

勅使川原千春 (一般社団法人 秦野市観光協会)

市川清美 (一般社団法人 伊勢原市観光協会)

安藤洋一 (上記)

コーディネーター 太田孝 (東海大学観光学部教授)

●16:50 総括・閉会挨拶 松本亮三 (東海大学観光学部教授 観光学部長)

○17:00 ~ 17:15 アンケート記入・交流会会場案内

【交流会】 17:30 ~ 19:00 タウンニュースホール 2階

■主催:東海大学 観光学部 ■協力:丹沢湘南観光連携会議

■参加費:無料 ■定員:約150名 ■参加申込:不要

【問合せ】東海大学 湘南キャンパス 0463-58-1211 内線3951 観光学部事務室

●駐車場が不足する恐れがありますので、公共交通機関でのご来場をお薦めします。



第6回 東海大学 丹沢湘南観光交流フォーラム



TOKAI

【テーマ】大山道、その魅力の再発見ーまち歩き企画の実践を通して

開催：2013年1月25日（土）14:00 開会
タウンニュースホール（小田急東海大学前駅南口を左に出て徒歩1分）

■開催趣旨

2010年4月に東海大学観光学部が設置され、3年9箇月が経過しました。このフォーラムは観光学部設置の先駆けとして2007年度にスタートしました。大学周辺に位置する丹沢湘南地域の市町村における観光交流や魅力ある地域づくりについて考えるため、有識者を招いて有用な話題やヒントを提供していただき、意見交換の場として開催して参りました。

今回は「大山道（おおやまみち）、その魅力の再発見ーまち歩き企画の実践を通して」をテーマとし、今年度試みてきた大山道を活かした実践的な取組を振り返りながら、大山道をどのように活かすべきかについて、パネルディスカッションおよび質疑応答と意見交換の場を設けます。

基調講演には伊勢原市教育委員会の文化財課で長年にわたって文化財の調査を手がけてこれ、大山道案内の実践家としても活躍されている安藤洋一氏をお招きし、実践例を踏まえたお話を伺うこととしました。

大山道は江戸の庶民にとって貴重な観光旅行の機会であった「大山詣」のための参詣ルートであり、現在の大山阿夫利神社（当時の大山寺^{*1}）に向かう多数のルートが知られています。その代表格が都内の青山通りから伸びる国道246号ですが、大山への登山道を有する伊勢原市や秦野市とともにその周辺に位置する平塚市、二宮町、中井町などにも大山道があります。

^{*1} 江戸末期まで神仏習合。

これらの大山道を観光振興に活かすべく、丹沢湘南観光連携会議^{*2}では、(株)セブンカルチャーネットワーク^{*3}と連携して10月から12月にかけて6回にわたる日帰りのまち歩き企画商品を販売し、実施してきました。

パネルディスカッションでは、こうした実践結果を報告していただくとともに、神奈川県および東海大学湘南キャンパス近隣に位置する自治体や観光協会と観光振興に携わっている方々にパネリストとしてご登壇いただきます。議論に際しては本学部の太田孝教授がコーディネーター役を務め、さらに基調講演者の安藤洋一氏にも加わっていただき、大山道をどのように観光振興や地域づくりに活かしていくべきかについて、ご来場の皆様とともに議論を深めていきたいと考えます。

地域の暮らしやまちづくり、観光振興、景観形成、文化事業、商業振興、農業振興、地場産業振興等に関心を持たれている多くの方々のご参加をお待ちしております。

^{*2} 東海大学観光学部が幹事となって運営しており、丹沢湘南地域に属する自治体が広域連携することによってより魅力的な観光の振興を図ることを目的に、実践的な試みを重ねている。参加自治体および観光協会は、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町、中井町、神奈川県湘南地域県政総合センター（2013年12月現在）。

^{*3} セブン&アイグループの中で旅行企画や実施を扱っており、今回は関東南東部のセブンイレブンの各店舗を活用して観光企画商品のパンフレットを配備し、各店舗にある端末からも予約できる仕組みを用意した。

■基調講演者プロフィール

安藤洋一（あんどうよういち）氏

1975年4月 伊勢原市役所奉職、教育委員会学校教育課

2007年4月 教育委員会教育部文化財課、再発見大山道調査に従事

2009年4月 文化財課課長

2011年3月 伊勢原市役所定年退職

2011年4月 教育委員会文化財課再任用職員、現在に至る

2012年度 文化財・観光連携事業「相模大山道を歩く1（田村通り大山道）」講師

2013年度 文化財・観光連携事業「相模大山道を歩く2（柏尾通り大山道）」講師

【著作】2011年3月 『再発見大山道調査報告書 伊勢原市内の大山道と道標』（共著、大山道及び道標の部分を担当）

【展示】2009年12月 文化財資料展「伊勢原市内の大山道と道標ー再発見大山道調査からー」展示全般を担当



■主催：東海大学 観光学部 ■協力：丹沢湘南観光連携会議 ■参加費：無料 ■定員：約150名 ■参加申込：不要

【問合せ】東海大学 湘南キャンパス 0463-58-1211 内線3951 観光学部事務室

FAX.0463-50-2536 E-mail : kiyomil@tsc.u-tokai.ac.jp (@の前は数字の1です)

●駐車場が不足する恐れがありますので、公共交通機関でのご来場をお勧めします。